

「クール・ジャパン戦略」の強化と国際コンテンツ拠点「Creative KYOTO」の形成について

【担当省庁】内閣府、経済産業省、総務省、文部科学省

我が国のブランド力向上や経済再生に重要な役割を果たすコンテンツ産業の発展や海外展開を推進する「クール・ジャパン戦略」を一層強化されるとともに、コンテンツ産業に高いポテンシャルを持つ京都においてクール・ジャパン戦略をリードする「Creative KYOTO」形成を実現するため、以下のとおり要望いたします。

「Creative KYOTO」形成の実現

- コンテンツ産業の国際人材育成とクロスメディア展開による新産業創出を担う国際コンテンツ拠点「Creative KYOTO」形成に向けた京都の取組を国の施策の中に位置付け、支援していただきたい。
 - ▶ 「クロスメディア・クリエイティブセンター（仮称）」の創設
 - ・クロスメディア展開による新産業創出を図る共同研究開発拠点として創設し、リエゾン・オフィスやインキュベート施設も設置
 - ▶ クロスメディア・デジタル・アーカイブの構築
 - ・クリエイターの自由な創作活動と共同事業に活用するためのデジタル・アーカイブを構築
 - ▶ コンテンツ産業振興基金の造成
 - ・運用益活用型の公的基金制度を創設し、海外セールス用のパイロット版、プロトタイプ製作を集中的に支援
 - ▶ 電子教科書・教材など教育分野における新産業の創出
 - ・先導事業として、教育分野のデジタルコンテンツ製作のビジネスモデル創出や海外展開を実施
 - ▶ 「KYOTO CME X」（コフェスティベント）への支援
 - ▶ コンテンツ関連産業の立地促進支援

＜経済産業省の概算要求＞

◎クールジャパンの芽の発掘・連携促進事業（新規） 10億円

クール・ジャパンの芽となる中小企業等が有する魅力（地域産品、食、アニメ、ものづくり、観光等）をプロデューサー人材が発掘し、海外事業展開・日本における消費の拡大につなげるため、数十箇所程度の事業を行う支援ネットワーク整備を委託

◎クール・ジャパンを体現する日本企業の支援（産投）（新規） 400億円

クール・ジャパンを体現する日本企業（コンテンツ、衣食住産業、家電・自動車、サービス、レジャー等）の海外展開を支援するためのリスクマネーを供給

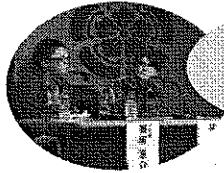
◎クール・ジャパン戦略推進事業 4.6億円

◎コンテンツ産業強化対策支援事業 8.9億円

京都府の現状・課題等

京都のポテンシャル

- ◆ 京都は、太秦の映画撮影所、京都国際マンガミュージアムをはじめ、映画、マンガ、アニメ、ゲームなど、コンテンツ関係の施設、企業、大学が多数立地。また、映画情報を収集・発信する京都文化博物館、コンテンツ関連企業が集積する京都リサーチパークなどの拠点があり、コンテンツ産業の振興、コンテンツ間や伝統産業等とのコラボレーションによる新産業創出、クロスメディア展開に最適の地



映画 アニメ

2009年から府、市、京都商工会議所をはじめとするオール京都体制により、我が国のコンテンツ産業の魅力を国内外に発信するとともに、クロスメディア展開を促進するため、コフェスタ公式イベント「KYOTO CMEX」を開催



マンガ

2008年
京都マガミット京都入
京都市では、京都国際マンガミュージアムを2006年に開館。マンガサミットの開催、コンテンツビジネス研究会の設置、新価値創造ビジョンの策定(2011年)にも取り組む

- ◆ 京都府では、2006年から、映画制作等の技術開発やコンテンツ系ベンチャー育成等に取り組む「太秦メディアパーク構想」を推進

- ◆ 世界最大のゲームメーカー、ゲーム業界最大手のOEMメーカー、特色ある映像関連企業など多数の企業が集積

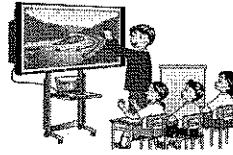
ゲーム

コンテンツ系学部・学科を持つ
大学・専門学校に4千人以上の学生
京都大学学術情報メディアセンター
立命館大学映像学部
京都造形芸術大学芸術学部
京都精華大学シンガ学部
京都嵯峨美術大学メディアデザイン学科
京都工芸総合大学デザイン・経営工学科
京都市立芸術大学美術学部デザイン学科
京都情報大学院大学
京都美術工芸大学
京都コンピュータ学院 ほか

クロスメディア展開 による新たな産業創出

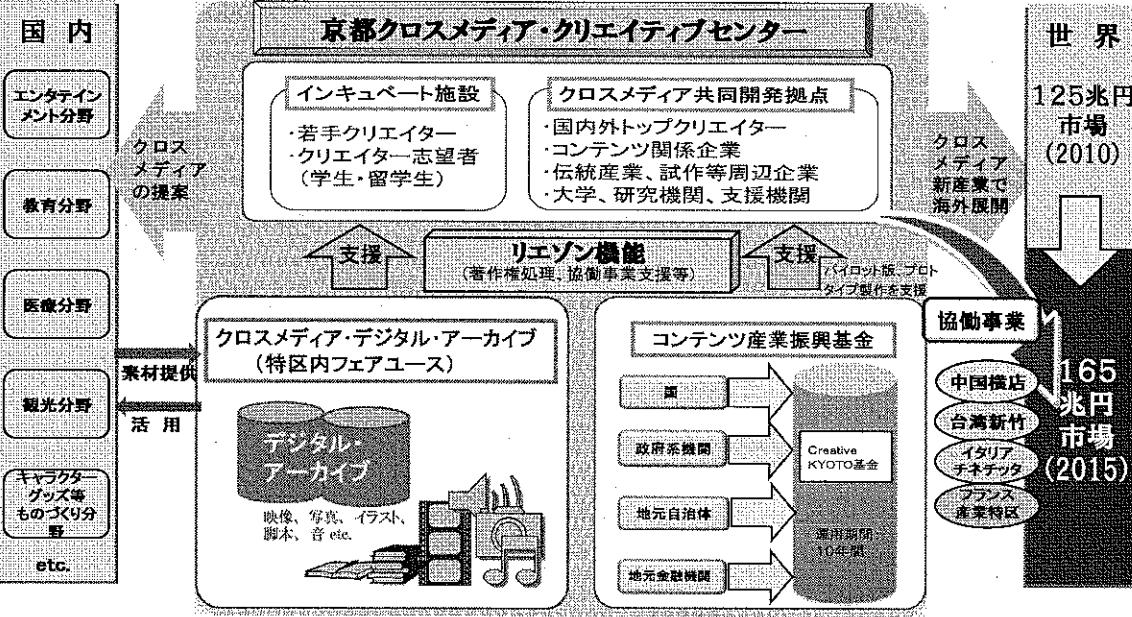
例えば、ファッションとコンテンツの融合によるツール・ジャパン推進に繋がる取組、生徒のタブレットと電子黒板を結ぶ電子教材にコミュニティ機能や自動翻訳機能を加えた新たな教育環境の構築や、位置情報(スマートフォン)とアニメコンテンツ(聖地)との連携 等々

- ◆ 教育分野のICT化により、コンテンツ需要が急増



「Creative KYOTO」の取組

- ◆ クロスメディア・クリエイティブセンターを中心とした Creative KYOTO の実現に向けて、京都における貴重な資源をデジタル・アーカイブ化して活用するとともに、コンテンツ産業振興基金を創設し海外向けセールス版制作等を支援することにより、産産・産学公連携による新産業創出を加速



【京都府の担当部局】

商工労働観光部 ものづくり振興課 075-414-4852